



2019年2月25日

## パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社本社工場様における 蓄電池エネルギーサービスの運用開始について

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

日本ファシリティ・ソリューション株式会社(代表取締役社長 柴田祐亮)は、パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社様(取締役社長 寺田勝彦)の蓄電池システムリニューアル工事を完了し運用を開始いたしました。

本事業は、東京電力エナジーパートナー株式会社(代表取締役社長 川崎敏寛)と共同で、最適な電池システムを提案した結果、リチウムイオン電池システムをご採用いただきました。

本システムは、需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント<sup>※1</sup>構築実証事業補助金を活用し、デマンドリスポンス<sup>※2</sup>に使用するほか、瞬時電圧低下<sup>※3</sup>の発生時には、蓄電池システムから放電することにより、工場の設備停止による経済的損失を防ぐことが見込まれています。

今後も当社は、エネルギーのベストパートナーとしてお客さまに信頼され、喜ばれる価値を創造することで明るく豊かな社会づくりに貢献してまいります。

本件は関係各社のホームページでもお知らせしております。詳細は以下をご参照ください。

株式会社村田製作所： 大型蓄電池システム導入

<https://www.murata.com/ja-jp/products/info/batteries/ess/2019/0225>

株式会社明電舎： リチウムイオンバッテリー対応瞬低対策機能付大容量パワーコンディショナーを納入

[http://www.meidensha.co.jp/news/news\\_03/news\\_03\\_01/1230155\\_2469.html](http://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1230155_2469.html)

以上

### ※1 バーチャルパワープラント【VPP:Virtual Power Plant】

需要家側エネルギーリソースの他、電力系統に直接接続されている発電・蓄電設備の保有者もしくは第三者が、エネルギーリソースを制御することで、発電所と同等の機能を提供することです。

### ※2 デマンドリスポンス【DR:Demand Response】

需要家側のエネルギーリソースを制御して、電力需要パターンを変化させます。DRは、需要制御のパターンによって、需要を減らす「下げDR」、需要を増やす「上げDR」に区別されます。

### ※3 瞬時電圧低下

落雷やその他自然現象等により電力系統で不具合が生じた際に、送電する電力が停電はしないが0.2~1秒間程度電圧が低下することを言います。これに伴い、電圧低下の影響を受けやすい設備に不具合が生じることがあります。



パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社本社工場様 設置状況